

実施機関・協力機関

株式会社NJSコンサルタンツ、株式会社DHSテクノロジー、三機工業株式会社、積水化成品工業株式会社（共同事業体）

事業の背景

- コタキナバル市のLikas湾では急速な都市化、下水道施設の老朽化、維持管理不足により、汚染が深刻化している。
- 市の維持管理予算不足により、省エネルギー・低ランニングコスト型の処理技術の普及が必要。
- 管渠の面整備は時間がかかるため、緊急的な対応が必要。



事業の概要

- 水域の直接浄化、又は既存排水処理へ追加設備を設置することで、早く、良く、安く、現地の水質改善を図るモデルを提案する。さらに将来的に、これらの施設を日本からICTを用いての遠隔監視を検討する。

実施場所

- マレーシア国、コタキナバル市の下水道施設(ポンプ場)敷地内

導入する技術の概要

- <DHSの特徴>
- 曝気不要のため省エネルギー
 - 高濃度汚泥(20~40 kg-DS/m³-sponge)を保持でき、余剰汚泥発生量が少いため、低ランニングコスト
 - 運転管理が容易で温暖な新興国に最適

短工期！コンパクト！なパッケージ型DHS

国内での実規模実証(2016)
B-DASH Project (国交省事業)

タイ王国、コンケン市(2018-19)
WOW TO JAPAN Project (国交省事業)

タイ王国、バンコク都(住宅会社のBongai処理場)
国立環境研究所とカセサート大学連携 (環境省)

散水ろ床の充填剤をスポンジにしたもの=曝気不要=省エネ
(特許公開番号：2009-274044、他3件)

期待される成果・事業化展望

- Likas湾の水質改善と臭気の抑制
- コンパクト化による敷地の有効活用
- 観光業や海産物へのプラス影響
- 水因性疾患の抑制
- 本邦企業の低リスクでの海外事業展開